

論文紹介：音楽CD売上減少の要因についての考察

小松 優希 (22211152mk@tama.ac.jp)

1. はじめに

今回、この論文を選んだ理由は今の時代ではわざわざ音楽CDを買わなくてもスマートフォンなどで音楽を聞くことができるのになぜCDは人気があるのか。また、どのような売上の変化があるのか知りたかったからです。

2. 問題と目的

近年、音楽CDが「売れなくなったと言われるようになりました。音楽業界はその元凶をデータ用CD-Rを利用した音楽CDのコピーやファイル交換ソフトを用いて行われる音楽データの取得と断言し、これらによって行われ不正デジタルコピーを問題視しています。

3. 方法

この研究ではデータ用CD-Rを用いた音楽CDのコピーやファイル交換ソフトを用いて行われるオンガキデータの取得が音楽CDの売上減少に与える影響を各種機関の統計データの調査資料を用いて調べました。また、WEBでアンケートを利用して音楽CDの売上減少の程度を調べました。

4. 結果

これらのみから音楽CD売上減少の要因になっているとは断言できず、携帯電話の普及、音楽のブームの減少、カラオケブームの沈静化、レンタルCDの普及といった要因も大きく影響を及ぼしている可能性があることを明らかにした。また、消費者の多くから現在の音楽CDの価格が高いと感じていることかわかった。さらに、消費者は名曲と感じる曲が減っていると感じており、このことは何よりも音楽CD売上減少に直結するものと考えられる。楽曲に魅力がなくなったことで消費者の音楽CD購入意欲が無くなり、売上減少に繋がっていると推測できた。

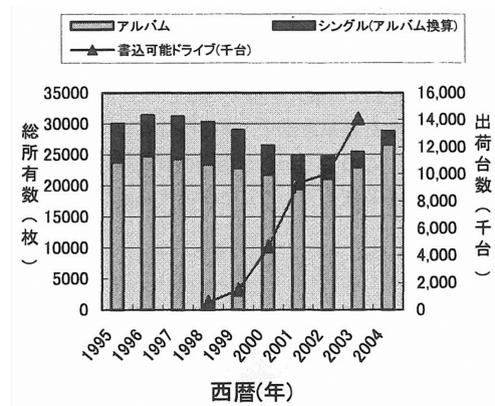


図 レンタルCD総所要数と書込可能ドライブ出荷台数

5. 考察

この論文をかいたのが平成18年と少し前の結果なので今みたいにスマートフォンが昔より普及しているので結果が異なると思いました。

6. おわりに

自分が小学生の時にはCDのCMや番組が頻繁にやっていたのに最近はそのようなCMや番組が観なくなってしまったその原因が何か、昔とどのようなところが違うのかが知りたいです

7. 引用文献

[http://repository.aitech.ac.jp/dspace/bitstream/11133/1299/1/紀要41号B\(P169-178\).pdf](http://repository.aitech.ac.jp/dspace/bitstream/11133/1299/1/紀要41号B(P169-178).pdf)